

進路だよい

大阪市立築港中学校

H26 冬休み号



各教科の先生からのアドバイス

色々な行事があった思い出深い2学期も今日で終わり、いよいよ、年が改まれば受験が目の前にせまってきた。この冬休みが一番大切な時です。毎日を大切に、そして一人一人ががんばって悔いの残らないようにすごしてください。各教科の先生に受験時期のアドバイスを書いていただきました。

国語（鶴見先生）

- ・宿題（プリント、問題集）を自分の力でしっかりすること。
- ・試験対策として過去問や作文をする場合は、時間を計ってテスト当日と同じ緊張感の中であること。間違えた箇所は解説をよく読み、その分野全体の復習をすること。

数学（堺先生）

私立を受験する人は、冬休み赤本を勉強しておいてください。各校で必ず傾向がありますので、それに慣れておきましょう。公立のみを受験する人は、各単元の基本的な範囲を復習しておきましょう。3学期で赤本対策ができるよう準備をしておきましょう。

英語（寺西先生）

冬休みの宿題にしている、「英作文」「まるごと使える語句600」をしっかりやっておいてください。入試の準備でもありますし、休み明けの実力テスト⑤の範囲にもなっています。英作文は、試験の本番でさて何を書こうかと迷っているようでは準備不足です。事前に対策を立てて書けるようにしてください。重要語句はたくさんあり時間がかかりますので、計画的に覚えていってください。

また、過去問にもどんどん時間を見つけて取り組んでください。実際に時間を計って本番のようにやってみて、時間配分を計算して解けるようにしておきましょう。時間をかけて解く問題、時間をかけずに解かなければならない問題を見極められるようにしましょう。

社会（山田先生）

冬休みから志望校の過去問をし始めてください。5年分の過去問がある場合は、年度の古い順から始め、そのつど間違ったり、理解できていない部分を克服し、次の年度に進んでください。

最近の過去問は最後に残し、1月末に総整理のつもりで行って下さい。

- ・地理分野は地理統計（農作物・鉱産資源）、雨温図、時差計算、都道府県の特徴などを復習。
 - ・歴史分野は年表を見て、歴史的語句で理解できていないものは、教科書のその部分を読んで理解する。教科書の図、写真、統計、資料は確認しておく。
 - ・公民は時事問題に関するものが題されるので、年末のニュースなどを見ておく。衆議院選挙があったので、選挙と国会、経済が問われる可能性があるので、教科書の景気と円安・円高を読み返す。税金の分野の復習も欠かせない。
- ※授業の入試対策問題をやり直しておくことも役立ちます。

理科（中村先生）

この時期はとにかく受験校の過去問に取り組むことです。私立などは学校ごとの特徴（頻出傾向や出題形式など）があるので、それに少しでも慣れておきましょう。後は、テスト形式の問題をこなす中で苦手な分野を見つけだして、そこを重点的に練習するといいと思います。がんばってください。



美術科（安永先生）

受験は合格するものです。合格する（目的）ために何をしたらいいか、具体的にどんな事をしたらいいか（手段）を考えましょう。これから時間内にどれだけできるかという時間との勝負です。入試というのは、その場所、その時間内にできることを問われます。小論文が20分以内に書ける。英作文が時間内に書ける。証明問題が時間内に解ける。ということです。過去問を解くにしても時間を意識しましょう。

音楽（細井先生）

塾に通っていなかったため、ひたすら家にこもって勉強してました。冬休み前半は過去問題集、後半は入試対策用の問題集をかなりの数をこなしました。1日8時間以上勉強しました。高3の時は音大受験に向けて、実技の練習を一日5～8時間してました。人それぞれ性格が違いますが、私の場合はいつも「トップで合格する。」と自分にプレッシャーをかけてがんばってきました。やれるだけのことはやっておけば、受験当日は自信をもって臨めます。

家庭科（中原先生）

休みに入ると午前中いつまでも寝て、扈からゴロゴロ、夜になって勉強をいう人があります。が、これは全然よくありません。規則正しい生活こそが頭をよく働かせるのです。そのためには、朝・扈・晩、きちんと食事をとることです。時間を決めて食べる事が生活のリズムをつくると勉強したよね。

体育（矢田先生）

体育科の実技試験は、①基本的な運動能力（50m走など）②専門的な運動技能（専門種目の技能）があります。部活動を引退して、日数が経っているのでもしも体を動かせていないのなら、少しずつ体を慣らして試験当日に力が発揮できるようにしよう。

試験当日は必ず緊張するので負けないだけの練習をしておこう。試験前に練習をしたい人は、個人的に声をかけてください。